

【南毛利地区】令和5年度あつぎタウンミーティング実施結果

日 時: 令和5年8月18日(金) 午後7時00分～午後8時00分
 会 場: 南毛利公民館 1階集会室
 参加者: 地区の自治会長(33名)、公民館地区館長、市長、副市長、教育長、政策部長、市長室長、地区市民センター所長

自治会長からの意見	市長等からの回答
意見1 18歳まで医療費無償化について	
<p>【戸室5丁目南自治会】</p> <p>■医療費負担については、数十年前は1割負担で、現在は3割負担となっています。18歳まで医療費を無償化にすることは、家計の安定にも寄与しますし、若い世代では病気に対する関心が高まり、病気など初期の段階から医療機関に受診することで重症化予防にもつながると思います。</p> <p>無償化を実施するに当たっては、関係機関とよく調整しながら慎重に進めてほしいです。</p>	<p>■医療費の無償化については、子どもの健全な育成を支援するとともに、子どもの福祉の増進を目的として、現在は15歳まで無償としています。今年の10月からは、子育て世帯の経済的負担の軽減と更なる子育て環境の充実を図るべく、中学校卒業までとしていた助成対象を18歳までに拡大することとしました。</p> <p>関係機関との調整については、これまでも市の子ども医療費助成への御対応をいただいている神奈川県国民健康保険団体連合会などに、事務手続上の御協力をいただきながら準備を進めています。</p> <p>また、国の動きとして、医療保険制度改革があります。その中では、出産育児一時金の引上げや、高齢者医療を全ての世代で公平に支え合う仕組み、被用者保険における負担能力に応じた格差是正の強化などを柱に、全ての世代が公平に支え合う、全世代型社会保障への取組が進められています。</p> <p>今後においても、国の動向等を注視しつつ、効果的な医療費助成について検討していきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 国保年金課、子育て給付課)</p>
意見2 コミュニティ交通の推進について	
<p>【ネオステージ本厚木自治会】</p> <p>■市民の高齢化が進んでいく中で、高齢者に関する様々な問題が多発すると感じています。高齢者を支援する施策の一つとして、コミュニティ交通の推進をお願いしたいです。</p> <p>現在の運行地区、今後の運行地区の予定と、南毛利地区においても決定している取組があれば教えていただきたいです。</p>	<p>■コミュニティ交通の導入については、市内の路線バスが利用しづらい地域、いわゆる公共交通不便地域の高齢化率や住宅の密度、スーパーや医療機関などの立地状況、地域移動ニーズなどを十分に把握した上で、定時定路線型やタクシー運賃助成など、その地域の特性に合った運行システムを検討しているところです。地域の特性に合った移動手段となるよう、地域の皆様と十分に協議し、検討していきたいと考えています。</p> <p>現在の運行状況については、荻野地区では、コミュニティ交通「ココモ」を運行しています。住宅団地とスーパー等を結ぶ路線を運行しており、地域が運営する協議会や地域関係者の御尽力により、利用者も着実に増加しています。</p> <p>また、毛利台地域においては、タクシーチケットを配布し、地域住民同士で1台のタクシーを相乗りで利用するなどの実証実験を行っているところです。</p> <p>また、飯山地区のマンションにおいては、生活利便施設立地促進事業により、近隣にスーパーが開店したことによるマンション住民の移動の変化をアンケート等により調査しています。</p> <p>今後においても、各地域の実情を捉え、地域の皆様からいろいろと御意見をいただきながら、地域特性に合ったコミュニティ交通を推進していきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 地域包括ケア推進課、都市計画課)</p>
意見3 コミュニティ交通の推進について(交通混雑)	
<p>【高坪第2自治会】</p> <p>■コミュニティ交通を検討すると、主に、高齢者を対象としたコミュニティバスやタクシーチケットなどのサービスが検討されると思います。他には、安全な自転車道や歩道の整備、シェアサイクルや駐輪場、時間帯による自動車の一方通行区間の設置などが考えられます。</p> <p>南毛利地区で弱いとされている地区内横方向の移動手段として有効だと思いますので、幅広い検討をお願いします。</p>	<p>■厚木市コンパクト・プラス・ネットワーク推進計画では、路線バスを補完するサービスとして、とりわけ車の運転ができない身体の衰えを感じつつある高齢者への施策として、コミュニティ交通の導入を進めているところです。</p> <p>南毛利地区では、地区内の横方向の移動が弱いとの御意見をいただきましたが、地域によって移動ニーズは変わってくると思いますので、御意見をいただきながら、今後も地域の特性にあった取組を進めていきます。</p> <p style="text-align: right;">(担当課: 都市計画課)</p>

意見4 高齢者のバス割引を拡大について

【みらい文化川本自治会】
■これから高齢者人口はますます増える見込みですので、かなちゃん手形購入費助成の拡大は非常に良い取組だと思います。これが税金からとなると、若者世代負担につながるのか不安もありますが、本取組についてもう少し詳しく知りたいです。

■高齢者バス割引乗車券(かなちゃん手形)購入費助成については、今年の12月に販売される半年券から助成額を拡大します。今までの自己負担額では若干高いといった御意見も聴いていましたので、対象となる皆様にはぜひ御利用いただきたいです。
直近の5年間の利用率は、平成30年度の24.1%が最も高く、以降減少が続いていますが、自己負担額が少なくなった分、外出機会のきっかけとして、かなちゃん手形を有効活用していただきたいと思います。
また、高齢者タクシー助成制度については、対象者が現在の85歳以上から、70歳以上84歳以下で自動車運転免許を保有していない方にまで拡大します。交付枚数についても、年間12枚だったものを48枚に増加させていただきました。
高齢者の中には、タクシーをなかなか乗りづらいといった生活習慣があるとお話をお聴きすることもあります。高齢者の方にとって、タクシーが利用しやすい環境になればとの思いで取組を充実していますので、より一層、御活用いただきますようお願いいたします。

(担当課:地域包括ケア推進課)

意見5 あつぎの農業の振興支援について

【浅間山第1自治会】
■あつぎの農業振興について、4つの点でお伺いしたいです。
1つ目は、農地の後継者不足と経営安定化のため農地集約と農業法人について、2つ目は、学校給食への地産品供給拡大について、3つ目は、農業を趣味とする人へのサービスについて、4つ目は農業学校、農地の貸出しについてです。市長の考えをお聴かせください。

■農業を取り巻く環境は、従事者の高齢化や後継者不足に加え、生産資材の高騰など、大変厳しい状況に置かれています。担い手が不足すると、生産が減少し、農地の荒廃化が進み、将来的には農業の持続可能性など様々な影響が生じる可能性があります。
学校給食については、来年の4月からの無償化に向けて、準備を進めています。学校給食への地場産農産物等の供給拡大については、本年9月から、「あつぎ産米」を月に1回導入するほか、野菜についても導入回数を増やし、子どもたちが厚木産の米や野菜を味わう機会を増やすことで食への関心を高めていきます。
次に、農業を趣味とする人へのサービスについては、農業者以外の市民の方が、野菜や花等を栽培し、農業に対する理解を深めてもらうため、市民農園を9か所開設しています。多くの皆様に御利用いただいているほか、民間開設の市民農園においては栽培方法の指導なども行っています。
新たに農業を志す方については、県の担い手育成機関である「かながわ農業アカデミー」において、農業経営者の育成に取り組んでおり、市においても、県と連携し、農業アカデミーの周知を図っています。
農地の貸出しについては、市とJAあつぎ、農業委員会が構成される厚木市都市農業支援センターが中心となり、農地を貸したい方と借りたい方のマッチングを行っており、これまで多くの方々に御活用いただいています。
農地の貸し借りに当たっては、奨励金などの支援もあることから、引き続き周知に努め新規就農者への支援を図っていくほか、農業者の営農継続と経営安定化に向け、様々な施策・支援を実施していきます。

(担当課:農業政策課、学校給食課)

意見6 本厚木駅北口の生まれ変わり交通環境について

【中長谷自治会】
■南毛利地区は、市の西側に位置し地域別でも居住人口が多い地区で、都心方面に勤めている方も多くいられます。
南毛利地区から本厚木駅に行くには、朝夕は駅への移動が大変渋滞し、本来は住みやすい地区ですが、住みにくくなっているのが現状ではないでしょうか。この交通渋滞を解決しないと、勤労世代で厚木市に居住し続けようと思う人はどんどん減って、子育てしやすいまちであっても、都心方面で働く人は、交通渋滞は嫌だよと、厚木市から出て行ってしまおうと思います。
市ではこれから本厚木駅北口の再整備や新庁舎の建設が進められていくとのことですが、市内でも比較的西側の人口が多いと思いますので、まちづくりの理念として、勤労世帯が住みやすい、住み続けたいといった面も考慮していただきたいと思っています。
そのための具体的な方向性として、現在のバスターミナルの位置は駅よりさらに東側にありますが、交通の便を良くするためには西側にバスターミナルの設置を検討したり、西側から駅方面へのアクセス道路の整備や大型駐車場を設けたりするなどがあると思います。
勤労世帯が住みやすい、通勤しやすいまちということも再整備の理念として、次世代まで受け継がれるまちを目指して、駅北口周辺の再整備をお願いします。

■雨が降ったときや時間帯によっては、厚木高校前の坂から駅方面の交通混雑が激しく、なんとかしなければならぬと認識しており、左折レーンをどのように作るかなどを研究しているところです。
また、市の形状として、駅を中心に放射状に伸びたバス路線に沿って店舗や住宅が分布していることから、郊外部から駅へのアクセスが集中するため、快適な移動をいかに確保するかが以前から課題となってきたところです。
本厚木駅北口の再整備や新庁舎の建設、本庁舎の跡地活用も見据えながら、そして、市民の皆様や市を訪れる方のことも考えながら、バスセンターをどこに設置するのか、2か所に分散するのかなども研究しているところです。
また、「厚木市交通マスタープラン」においても、定時性や速達性が確保された快適な路線バスサービスの提供に向けて取組を進めており、バスなどの公共車両が優先的に通行できる専用・優先レーンの設置や、停止時間を極力短縮する信号制御などを一部導入しています。
本厚木駅北口の再整備については、100年に一度の契機と捉え、一体的かつデザイン性・機能性に優れた街並みに再整備し、市民の皆様の期待に応え、全国から憧れを抱かれるまちの実現に向けて取り組んでいきます。

(担当課:都市計画課、市街地整備課)